

東京民医連奨学生ミーティング企画  
医学生・看護学生対象

# 性の健康教育活動

立川相互病院 ティーンズセクシャルヘルスプロジェクト (TSHP)

2021.03.06

# ティーンズセクシャルヘルスプロジェクト

- ティーンズセクシャルヘルスプロジェクト (Teens Sexual Health Project)、略して TSHPは、立川相互病院の産婦人科・小児科スタッフ、病院事務がメインで運営する、「性の健康教育」に取り組むグループ
- 情報過多な現代、正確な性の知識を学んだり、人生における性の意味を、年齢に合った時期に学べるような学校教育がない
- 10代の望まない妊娠による出産、中絶、性感染症が増加し、病院として、無防備な性行動の結果にだけ向き合うのではなく、予防活動に取り組む必要があると感じたことから、2004年に産婦人科スタッフを中心に発足。
- 活動は今年で17年目。



大学生

中高中生

若年  
妊婦

青年~高年

小学生

社会人

幼児

障碍者

保護者

# TSHPの活動

- 幼児期～小学生までを対象とした「誕生のひみつ」
- 高校生への出張講座
- 保護者向けの出張講座
- 社会人(企業)へのお出張講座
- 病院内の新入職員への研修
- 病院内での活動
- 若年妊婦への教育

# 性的自己決定権

- 小さな子どもから、大人まですべての人に、  
自分の性的な事柄を、自分で決める権利がある。

# 性教育バッシング

- 1980年代半ばに、HIV感染問題を受けて、その予防の観点から性教育が活発化していた。
- 2003年に、東京都の支援学校で行われた性教育の授業内容が不適切であると非難を受け、当時の校長および教職員が、東京都教育委員会から処分を受けた
- →不当介入、不当処分として学校側が勝訴
  
- しかし、2018年にも、東京都の中学校の性教育が指導要領に沿っておらず不適切だと都議会議員から問題視された

# 日本の性教育の指導要領

- 小学校4年生：保健体育「思春期の体の変化」（初経、精通、変声、発毛、異性への関心）
- 小学校5年生：理科「受精と胎児の成長」
  - ※受精に至る過程は取り扱わない
- 中学校1年生：保健体育「感染症の予防」「生殖に関わる機能の成熟」
  - ※「性交」という言葉は使用できない

# 日本の性教育の指導要領

- 高等学校:

受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、家族計画の意義、人工妊娠中絶の心身への影響について理解できるようにする。妊娠のしやすさを含む男女それぞれの生殖に関わる機能については、必要に応じ関連づけて扱う程度とする。

※必ず「指導に当たっては、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切」と記載あり

**日本の指導要領には、さまざまな歯止め規定が存在する**

# 教育と法の矛盾

- 「性的同意年齢」とは、刑法で、性行為の同意能力があるとみなされる年齢の下限

年齢	性行為同意年齢
16-18歳	アメリカ(州によって年齢が異なる)
16歳	韓国、イギリス、カナダ、フィンランド、ロシア
15歳	スウェーデン、フランス
14歳	台湾、ドイツ、イタリア
13歳	日本(明治に制定)

# 教育と法の矛盾

- 児童福祉法と各自治体の淫行条例で18歳未満との性行為が処罰対象
- **≠** 強姦(→同意の性交をしたことになるかもしれない)
- 少なくとも、性的同意とは何か、性交とは何かなどなど知る必要がある

# 世界では…

- 女性の2億2,500万人が安全で効果的な避妊アクセスを持っていない。
- 年間2億1,300万人の妊婦のうち、1/3が望まない妊娠
- その1/4が危険な中絶手術を受けている
- 妊産婦死亡の13%にあたる約5万人が中絶で命を落としている。
- 毎年27万人以上の女性が子宮頸癌で亡くなっており、その85%以上が低・中所得国

# セクシュアル・リプロダクティブヘルス

- 性や子どもを産むことに関わるすべてにおいて、身体的にも精神的にも社会的にも良好な状態であること

# セクシュアル・リプロダクティブヘルス・ライツ (SRHR)

- 性と生殖に関する健康と権利の事で、自分の意思が尊重され、自分の身体に関することを自分自身で決められる権利のこと。

# セクシュアル・リプロダクティブヘルス・ライツ (SRHR)

- すべての個人とカップルが、子どもを産むか産まないか、産むならいつ産むか、何人産むかを自分自身で決めることができること
- 安全に安心して妊娠・出産ができること
- 子どもにとって最適な養育ができること
- 他人の権利を尊重しつつ安全で満足のある性生活をもてること
- ジェンダーに基づく暴力、児童婚、強制婚や、女性性器切除などの有害な行為によって傷つけられないこと
- 強要を受けることなくセクシュアリティを表現できること
- 誰もが妊娠・出産、家族計画、性感染症、不妊、疾病の予防・診断・治療などの必要なサービスを必要な時に受けられること

# 科学的根拠に基づいた 包括的セクシュアリティ教育

1. 人間関係
2. 価値観、人権、文化、セクシュアリティ
3. ジェンダーの理解
4. 暴力と安全確保
5. 健康と幸福のためのスキル
6. 人間のからだと発達
7. セクシュアリティと性行動
8. 性と生殖に関する健康



# 例えば性と生殖に関する健康は...

- 5-8歳：受精、妊娠中の女性のからだの変化
- 9-12歳：受精、性交、月経周期と妊娠しやすさ、妊娠の徴候
- 12-15歳：生殖機能と性的感情の違い、避妊
- 15-18歳：不妊に対応するための選択肢

# 科学的根拠のレビュー

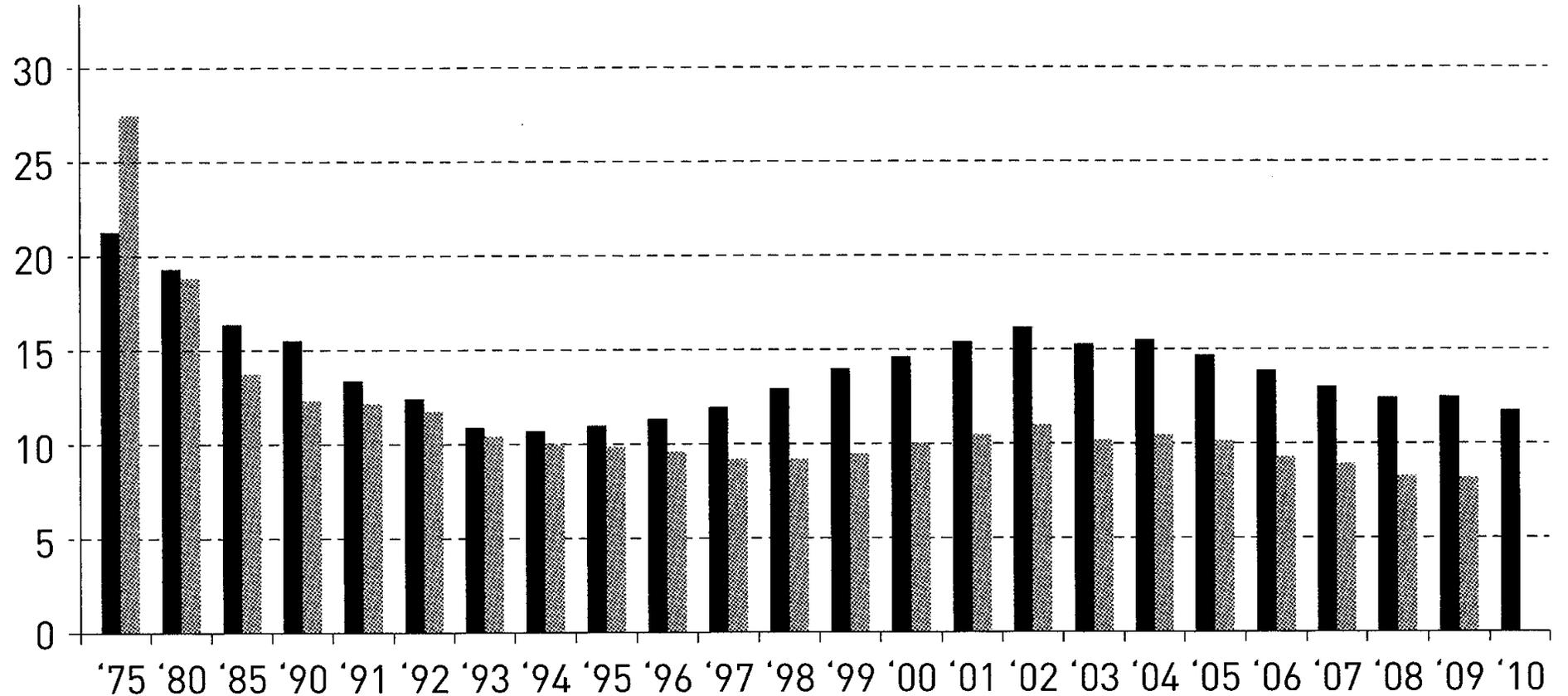
- 初交年齢の遅延
- 性交の頻度の減少
- 性的パートナー数の減少
- リスクの高い行為の減少
- コンドームの使用の増加
- 避妊具の使用の増加



# 15～19歳女子の中絶数と出産数 1975-2000 (1000人あたり)

フィンランド

■ 中絶      ■ 出産



フィンランド国立健康・福祉研究所

# 私たちの活動をご紹介

## 子ども向け性の健康講座

### 「誕生のひみつ」

幼児(4歳~小1)

中学年(小2~小4)

高学年(小5~小6)

児童養護施設(4歳~小5)

高校生向け講座  
若年妊婦

## 保護者向け性の健康講座

子どもを取り巻く環境(インターネット)  
親子のコミュニケーションと子どもの性行動

# なぜ幼児期から（こども）

- 先入観が植え付けられる前に、科学的に伝えることで正しい知識が素直に入る
- 自分のプライベートゾーンを知り、自分の身を守る
- 被害にあった時にすぐに大人に伝えられるようにする
- 自分や周囲の命を大切に思うことができるようになる

# なぜ幼児期から（大人）

- 講座をきっかけに、こどもが誕生した時の喜びを直接伝えてほしい
- 繰り返しの性教育の必要性を理解でき、家庭内で実践するためのきっかけ作り
- 自分のこれまでの人生で「性」に関係するわだかまりがないか振り返り、癒やしのきっかけにしてほしい

# 子ども向け性の健康講座の紹介

幼児(4歳~小1)

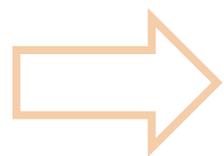
中学年(小2~小4)

高学年(小5~小6)

児童養護施設(4歳~小5)

# 中学年向けの特徴

- 一番の特徴は、二次性徴が起こる前の年齢ということ。
- 4項目「これからの君たちへ」を追加



月経や勃起・夢精について紹介

ポジティブなイメージで伝える  
性別への違和感

# 子ども向け性の健康講座の紹介

幼児(4歳~小1)

中学年(小2~小4)

高学年(小5~小6)

児童養護施設(4歳~小5)

# 高学年向け講座の紹介

## 第1部「誕生のひみつ」

- 1、身体の話(二次性徴も含めて)
- 2、誕生のひみつ  
受精の過程を映像で紹介  
性交についても紙芝居を  
使って伝える  
妊娠期の経過は本物妊婦へ  
インタビュー

## 第2部「これからの君たちへ」

- 1、ネット、SNSについて
- 2、いろいろな性
- 3、恋愛・自己決定

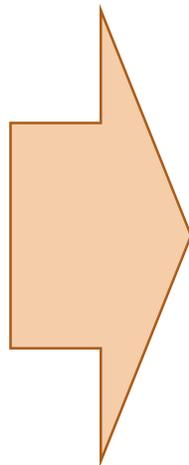
# 第2部これからの君たちへ(高学年)

## 2、いろいろな性

性別への違和感

性的指向

男らしさ  
女らしさ



人と違っていい  
人と比べなくていい

# 受講者の感想(事前・直後・1ヶ月後にアンケートを実施)

## 事前アンケート：受講理由

- インターネットなどで間違えた情報を知ってしまう前に、正しい教育を受けさせたかった。また、親子で性のことを話しやすくなると思ったから。
- 自分の体を大切にしてほしいと思ったから。

## 受講後の感想

- 性行為の紙芝居は正直ドキッとしたが、子どもはふーんという感じで話を聞いていたので自分自身が性に対して身構えていたんだなあ実感した。
- 性についてどう伝えていけばいいのか迷いがありましたが、しっかりと科学的に伝えればいいんだと実感できてよかったです。
- 講座がきっかけとなり、親子で話しやすくなった。

# 子ども向け性の健康講座の紹介

幼児(4歳~小1)

中学年(小2~小4)

高学年(小5~小6)

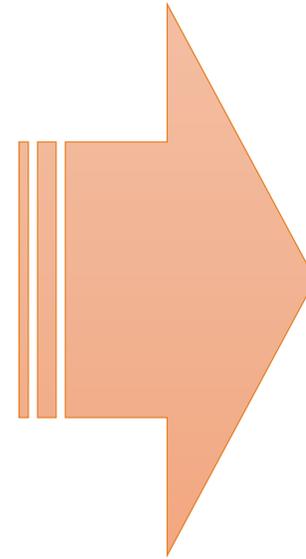
児童養護施設(4歳~小5)

# 児童養護施設での講座

入所理由：ほぼ虐待

性虐待  
場面を見せられた子

パニックになる子  
赤ちゃんが嫌いな子  
集中力がない子



反応が未知数

## 施設の子ども達へ ～特に伝えたいメッセージ～

- \* お腹の中で守られていた 頑張って生まれてきた
- \* 嫌なことは「嫌だ！」と言ってもいい
- \* 信頼できる大人に相談 守ってくれる大人がいる
- \* あなたは大切な人

子ども  
たちが

## 安心して講座を受けることができるための準備

- 講演後の子どもたちのフォローのために、施設職員全員が研修
- 施設職員は子どものそばで見守りながら参加
- 施設職員は講演にも参加 子どもへのメッセージは施設職員が担当



混乱はなく  
集中して講座を  
受けていた

不適切な性の言動が  
あった児が落ち着いた

性教育を  
早急に必要としている  
子ども達



# 私たちの活動をご紹介

## 子ども向け性の健康講座

### 「誕生のひみつ」

幼児(4歳~小1)

中学年(小2~小4)

高学年(小5~小6)

児童養護施設(4歳~小5)

## 高校生向け講座

若年妊婦

## 保護者向け性の健康講座

子どもを取り巻く環境(インターネット)

親子のコミュニケーションと子どもの性行動

# 高校生

- 性別について
- 男女の体の構造
- 月経のしくみ
- 妊娠のながれ
- 安全日
- 避妊
- 性感染症
- 性被害
- インターネット被害
- DV・デートDV
- 性の自己決定

# 性の構成要素

生物学的性

社会的性(ジェンダー)

身体の性	性自認	性指向	性の役割
性染色体 (X,Yなど)	自分を男と思う	ヘテロセクシャル	男らしさ
		違う性を好きになる	
性ホルモン	自分を女と思う	ホモセクシャル	女らしさ
		同じ性を好きになる	
内・外性器 (外見)	どちらともいえない	バイセクシャル	
		同性も異性も好きになる	
		Aセクシャル	
		性的に人を好きにならない	

# DV：ドメスティックバイオレンス

暴力(パワー)を使って相手を自分の思うとおりに動かす(支配、コントロール)こと

- 言葉の暴力

相手を馬鹿にした言葉、汚い言葉、欠点をあげつらう、どなる、叫ぶ

- 身体的暴力

ものを投げる、壊す、拳骨でなぐる、髪をひっぱる、首をしめる、火傷させる

- 心理的暴力

不機嫌にむっつり、自分はダメな人間と思わせる、しっとさせる、友人、家族と連絡取らせない、自殺すると脅かす

- 性的な暴力

セックスの無理強い、レイプ、避妊に協力しない

- 経済的締め付け・封鎖

お金の管理を独占する、十分な家計費を与えない、仕事をやめさせようとする

# デートDV

結婚していない  
カップル間で  
起こるDVの事

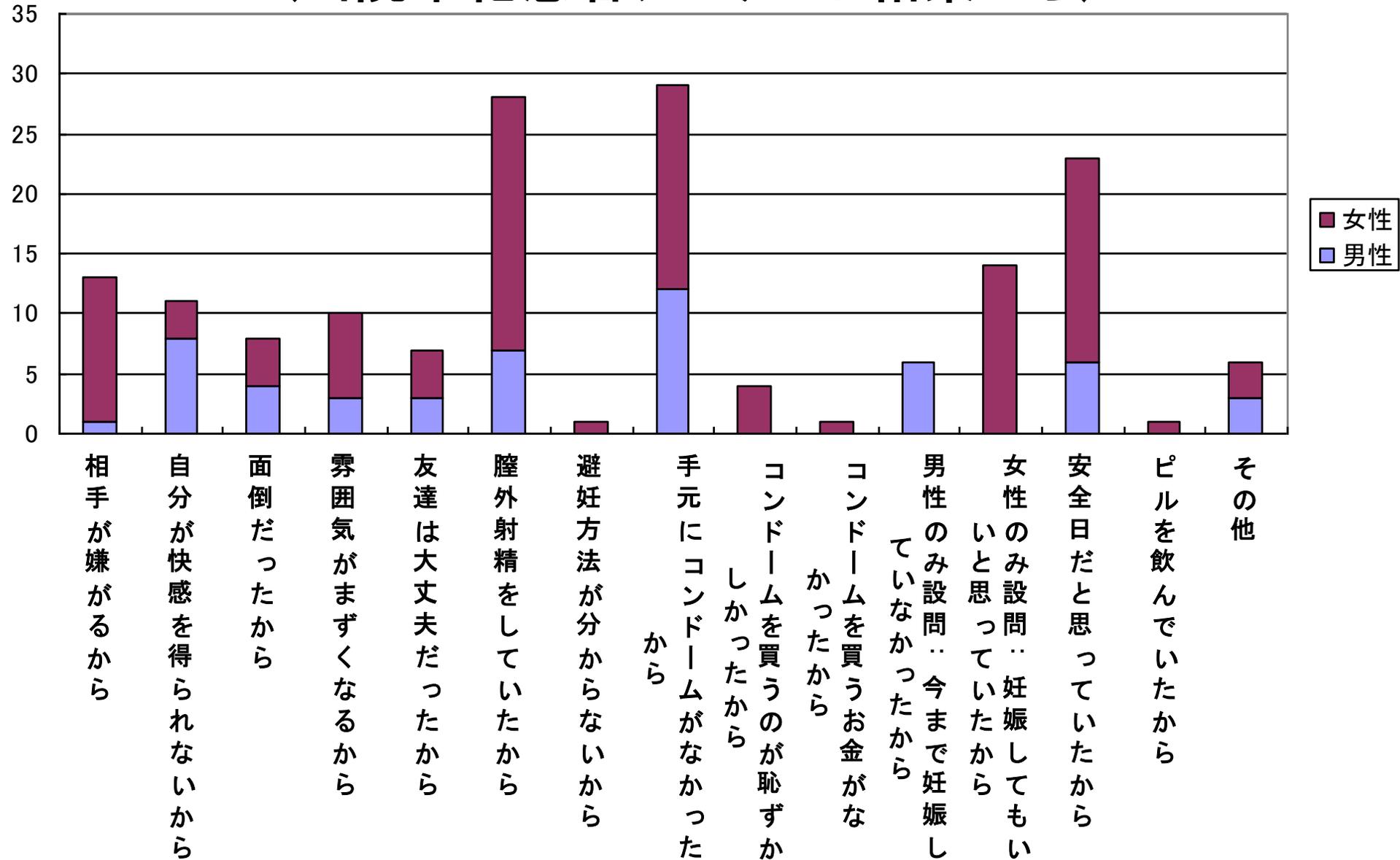
Check!

## あなたの恋愛大丈夫？

自分、恋人……どちらかに当てはまったら ✓ を入れよう

- 恋人の携帯電話を勝手にチェック！
- 恋人が異性と話すのは絶対ダメ！
- デート代の支払いは一方任せ
- 恋人の予定は把握するのが当たり前
- 出掛けるのには、相手の許可がいきます
- 相手の顔色や機嫌をいつも気にしています
- 相手の趣味に合わせるのは恋人として当然
- 他の約束よりも、恋人との約束最優先であるべき
- よく怒鳴る、不機嫌になる
- 手を上げる、物を投げる
- 避妊に否定的、恋人なんだし避妊なんていない

# 避妊をしなかった理由 (当院中絶患者アンケート結果から)



# 私たちの活動をご紹介します

## 子ども向け性の健康講座

### 「誕生のひみつ」

幼児(4歳~小1)

中学年(小2~小4)

高学年(小5~小6)

児童養護施設(4歳~小5)

## 高校生向け講座 若年妊婦

## 保護者向け性の健康講座

子どもを取り巻く環境(インターネット)  
親子のコミュニケーションと子どもの性行動

# 保護者向け性の健康講座

子どもを取り巻く環境

(インターネットについて)

親子のコミュニケーションと子どもの性行動

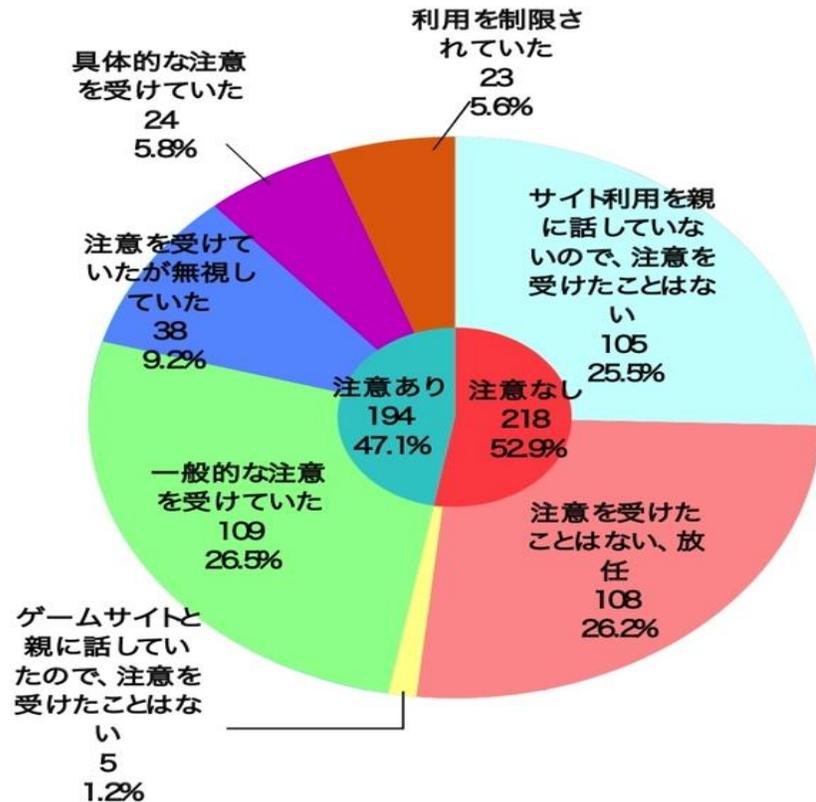
(自己肯定感との関係性)

# 講演内容

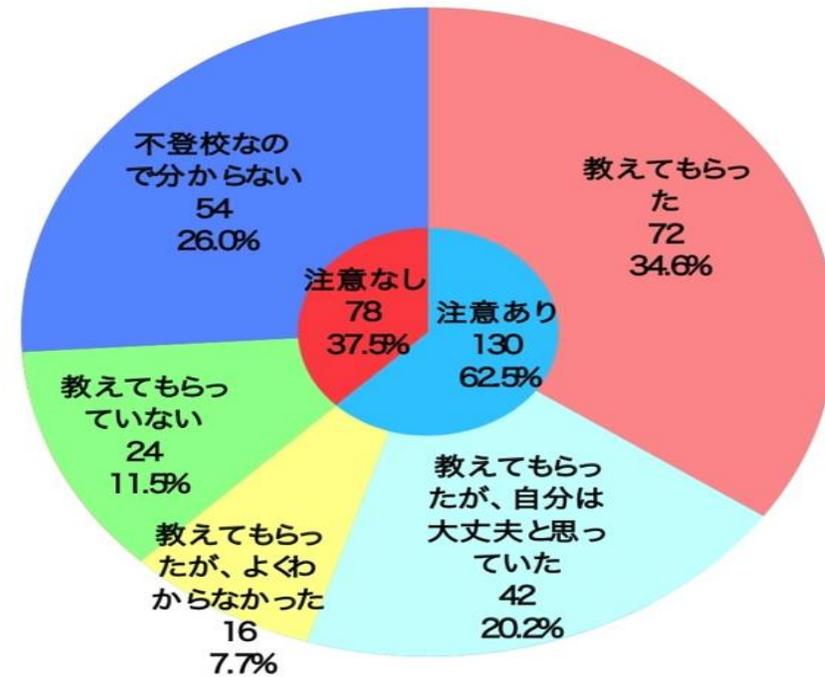
- 自分のスマートフォンを持つ子供の割合
- インターネットの利用内容
- 子供達のインターネット利用に潜む危険
- SNS、出会い系サイトに関わる事件と特徴
- 保護者ができるポイント

# 被害にあった児童のネットの指導状況

## 保護者による指導状況



## 学校による指導状況



# 保護者向け性の健康講座

子どもを取り巻く環境

(インターネットについて)

親子のコミュニケーションと子どもの性行動

(自己肯定感との関係性)

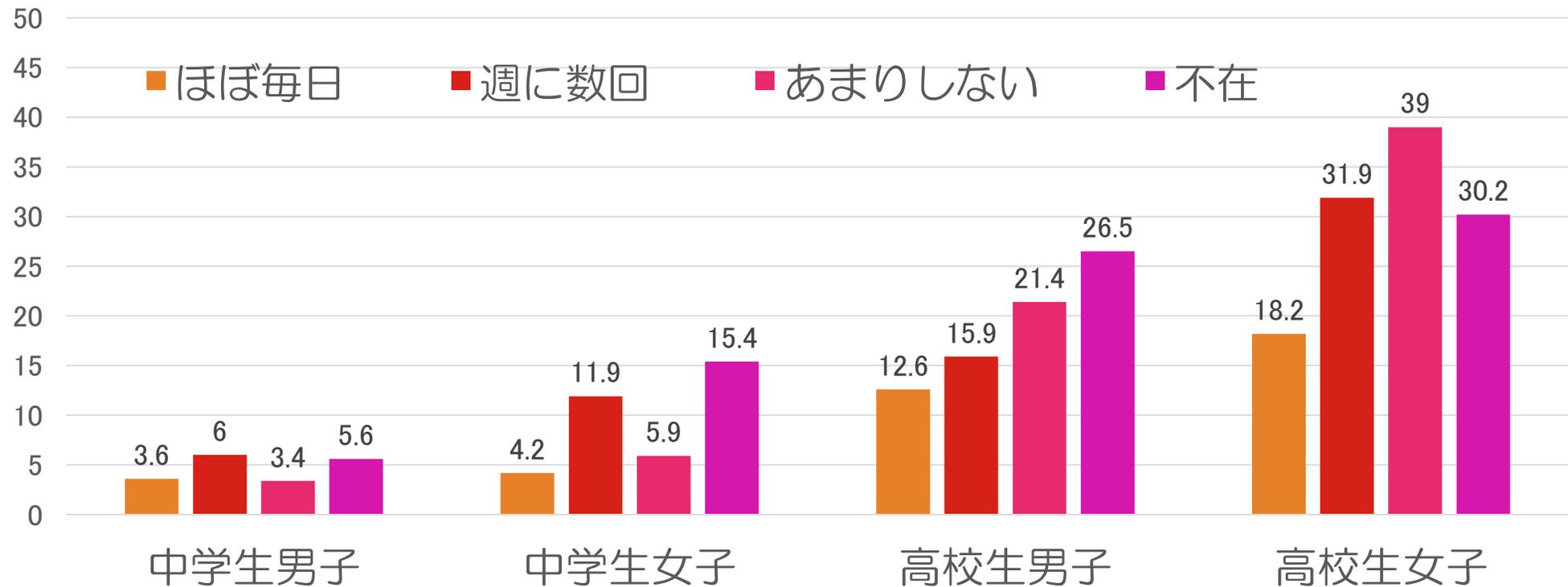
# 講演内容

- 親子のコミュニケーションと子どもの性行動
- 自己肯定感と性の自己決定
- 性の自己決定を発揮できる条件（生きる力）
- 自己肯定感を育むために



## 母親との会話頻度別に見た性交経験率

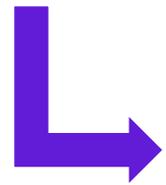
(%)



自己肯定感は



性の自己決定にも影響する



性に関わる事柄について  
自らの責任で選択し決定できること

# 性の自己決定を発揮できる条件

正しい知識

教育

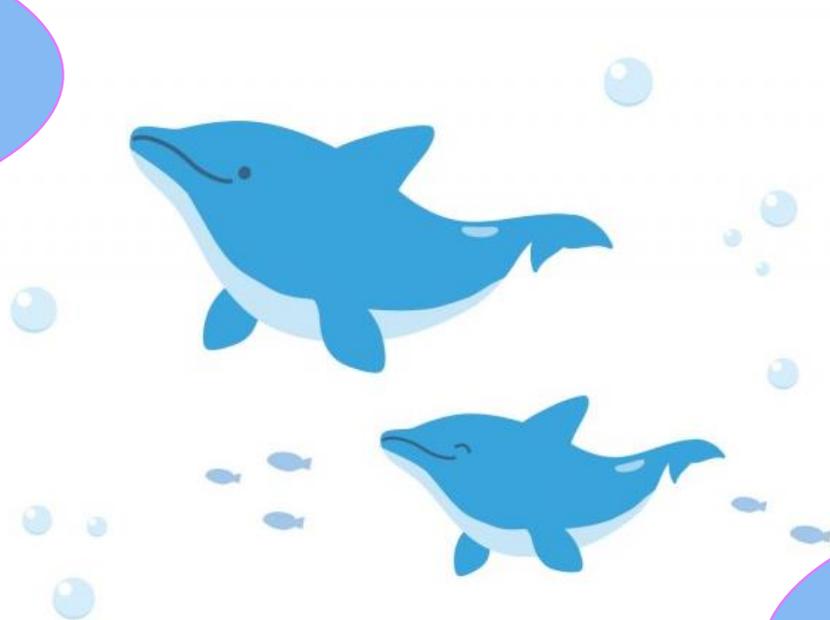
コミュニケーション

性の自己決定・・・生きる力

# 自己肯定感を育む（家庭でできること）

徹底的に話を聞く

結果ではなく  
努力を評価



小さいうちは  
愛情豊かな  
スキンシップ

時には、  
第三者に相談を